

## 調達物品に備えるべき技術的要件

|        |   |
|--------|---|
| 1      | 一般撮影装置を2式備えること。また、以下の要件を満たすこと。                              |
| 1-1    | X線高電圧発生装置は以下の要件を満たすこと。                                      |
| 1-1-1  | インバータ方式であること。   |
| 1-1-2  | 定格出力は80kW以上であること。   |
| 1-1-3  | 最大管電圧は150kV以上であること。   |
| 1-1-4  | 最大管電流は1000mA以上であること。  |
| 1-1-5  | 撮影タイムの設定範囲は0.001～10sec以上の範囲であること。                           |
| 1-1-6  | 撮影条件はkV/mA/secでの設定ができること。また、kV/mAsの設定はワンタッチで切替できること。        |
| 1-1-7  | 撮影条件の設定は視認性に優れたカラー液晶タッチパネルを採用し、タッチ操作にて変更ができること。             |
| 1-1-8  | 管電圧の変更は大きなステップでの変更ボタンと細かなステップでの変更ボタンの2種類により素早く条件設定ができること。   |
| 1-1-9  | アナトミカルプログラム機能を有しており、プログラム数は1260種類以上あること。                    |
| 1-1-10 | 撮影後の撮影条件を一時的に保存できること。また、保存可能履歴数は14件以上であること。                 |
| 1-1-11 | デジタル画像処理装置との条件連動ができること。また、実施情報をデジタル画像処理装置へ送信できること。          |
| 1-1-12 | 撮影後に計算による面積線量値を表示できる機能を有し、値をデジタル画像処理装置に送信できること。             |
| 1-1-13 | X線管装置の許容負荷及び陽極熱量管理ができること。                                   |
| 1-1-14 | ハンドスイッチと操作パネル上からばく射ができること。                                  |
| 1-1-15 | 撮影用フットスイッチによるばく射が可能であること。                                   |
| 1-1-16 | 撮影準備完了等の装置状態が操作パネルやハンドスイッチのイルミネーション点灯により識別できること。            |
| 1-1-17 | ホトタイマ制御器を備えること。   |
| 1-1-18 | ワイヤレスハンドスイッチにてばく射が可能であること。                                  |
| 1-2    | 天井走行式X線管保持装置は以下の要件を満たすこと。                                   |
| 1-2-1  | X線管装置の上下動ストロークは1600mm以上であること。                               |
| 1-2-2  | 水平軸廻りの管球回転は120°～-180°以上であること。                               |
| 1-2-3  | 支柱鉛直軸廻りの管球回転は±180°以上であること。                                  |
| 1-2-4  | 支柱鉛直軸廻りの管球回転のロックも電磁ロック方式であり、任意の角度でロックできること。                 |
| 1-2-5  | 立位撮影台と上下連動が可能であり、斜入撮影時も連動できること。                             |
| 1-2-6  | 臥位撮影台と上下連動が可能であること。   |
| 1-2-7  | X線管装置の首振りやテーブル長手方向の移動に追従し、臥位撮影台の受像部が自動的に追従するブッキー連動が可能であること。 |
| 1-2-8  | 操作部に設けた退避ボタンにより、X線管を上方向に自動で退避させる機能を有すること。                   |
| 1-2-9  | カラー液晶タッチパネルを搭載し、90°毎に液晶表示が回転できること。                          |
| 1-2-10 | 操作画面で患者情報の表示が可能であること。                                       |
| 1-2-11 | 操作画面で照射野サイズの変更ができること。                                       |
| 1-2-12 | 操作画面で管電圧、管電流の変更ができること。                                      |
| 1-2-13 | 操作画面でセレクト（術式および使用するFPDの組み合わせ）が選択できること。                      |
| 1-2-14 | 支柱背面に垂直軸回転・コリメータランプ点灯・オールフリーボタンが配置されていること。                  |

|        |   |
|--------|---|
| 1-2-15 | X線管保持装置の操作ハンドルに加えた力を検知し、操作力に応じて長手方向、短手方向、上下方向のモーターを制御することにより、軽い力でX線管の移動を可能とするパワーアシスト機能を有していること。 |
| 1-2-16 | アシストレベルは3段階以上で切り替えが可能であり、コリメータランプの点灯により、自動的に微調整に適したアシストレベルに切り替わる機能を有していること。                     |
| 1-2-17 | 管球をあらかじめプリセットした位置にワイヤレスリモコン操作で自動的に移動するオートポジショニング機能を有すること。                                       |
| 1-2-18 | オートポジショニングは5軸（長手、短手、上下、水平回転、鉛直回転）での移動が可能であること。  |
| 1-2-19 | オートポジショニング用ワイヤレスリモコンからコリメータランプ点灯・コリメータリーフ開閉ができること。  |
| 1-2-20 | 長手方向、短手方向の天井ケーブルはガイド内に収納され、垂れ下がりの生じない機構となっていること。  |
| 1-2-21 | 立位撮影台、臥位撮影台と連動し、X線管の首振りとFPDの平行移動による自動長尺撮影が可能であること。  |
| 1-2-22 | 撮影準備完了や撮影可能状態等の装置状態がイルミネーション点灯により識別できること。   |
| 1-2-23 | 操作画面の下部の背面にハンドグリップ、前面にオールフリーボタンが配置されていること。  |
| 1-2-24 | 操作画面にて水平軸廻りと支柱鉛直軸廻りの管球回転角度が表示されること。   |
| 1-3    | X線管装置は以下の要件を満たすこと。  |
| 1-3-1  | 陽極蓄積熱容量は400kHU以上であること。  |
| 1-3-2  | 小焦点は0.6mm以下であり、大焦点は1.2mm以下であること。  |
| 1-3-3  | 陽極回転は3倍回転方式であること。   |
| 1-3-4  | ターゲット角度は12°以上であること。   |
| 1-3-5  | 陽極の回転起動時間が1秒以内であること。  |
| 1-4    | X線管可動絞り装置は、以下の要件を満たすこと。   |
| 1-4-1  | 照射野ランプスイッチに自動消灯タイムスイッチ方式を採用していること。  |
| 1-4-2  | 自動絞り機能を搭載し、SIDに自動追従して照射野を保持できること。また、手動切替えにも対応できること。   |
| 1-4-3  | 3種類以上の付加フィルタを搭載し切替えができること。また、撮影部位に応じた自動切替えにも対応できること。  |
| 1-4-4  | 照射ランプはLEDを採用していること。   |
| 1-4-5  | レーザーラインマーカーにより撮影中心をわかりやすく表示すること。  |
| 1-4-6  | 安全のため、放射口周囲はゴムクッションでカバーされていること。   |
| 1-5    | 立位撮影台は以下の要件を満たすこと。  |
| 1-5-1  | カセット型ワイヤレスFPDに対応でき、FPDをトレイに装填できる撮影台であること。   |
| 1-5-2  | 散乱線除去グリッドを搭載していること。グリッドの仕様については本市と協議すること。また、検査に応じて容易に着脱できること。                                   |
| 1-5-3  | ブッキー装置の上下ストロークは1500mm以上であること。   |
| 1-5-4  | ブッキー装置の上下動作にX線管装置のセンターが自動追従すること。  |
| 1-5-5  | ブッキー装置の上下動操作部は左右両側に配置されていること。   |
| 1-5-6  | 4採光野以上のXeガスを封入したホトタイム受光部を搭載していること。  |
| 1-5-7  | 側面撮影用の握り棒及び正面撮影ハンドルを搭載していること。   |
| 1-5-8  | 昇降動作は手動および電動で動作できること。   |
| 1-5-9  | 撮影台部の平行移動と管球の首振り動作による自動長尺撮影が可能であること。  |
| 1-5-10 | 自動長尺撮影の撮影範囲は検出器面上で最大160cm以上であること。   |

|        |   |
|--------|---|
| 1-5-11 | 長尺撮影用の補助具を備えること。  |
| 1-6    | 臥位撮影台は以下の要件を満たすこと。  |
| 1-6-1  | カセット型ワイヤレスFPDに対応でき、FPDをトレイに装填できる撮影台であること。   |
| 1-6-2  | 散乱線除去グリッドを搭載していること。グリッドの仕様については本市と協議すること。また、検査に応じて容易に着脱できること。   |
| 1-6-3  | 天板サイズはW810×D2050mm以上であること。  |
| 1-6-4  | 天板フローティング範囲は長手方向で±225mm以上であり、短手方向は±125mm以上であること。  |
| 1-6-5  | 天板昇降式であり、昇降範囲は最低位が355mm以下であり、最高位は905mm以上であること。  |
| 1-6-6  | 天板上昇に併せてX線管装置がSID固定のまま自動追従すること。   |
| 1-6-7  | 天板上昇時に予め設定した位置で一時停止ができること。  |
| 1-6-8  | ブッキー装置の長手方向移動ストロークは±400mm以上であること。   |
| 1-6-9  | X線管装置の首振りやテーブル長手方向の移動に追従し、受像部が自動的に追従するブッキー連動が可能であること。   |
| 1-6-10 | 最大許容負荷質量は160kg以上であること。  |
| 1-6-11 | 1採光野以上のXeガスを封入したホトタイム受光部を搭載していること。  |
| 1-6-12 | 天井走行式X線管保持装置と連動した自動長尺が可能であること。  |
| 1-6-13 | 自動長尺撮影の撮影範囲は検出器面上で最大120cm以上であること。   |
| 2      | FPDシステムは以下の要件を満たすこと。  |
| 2-1    | デジタル画像処理装置を2式備えること。また、以下の仕様を満たすこと。  |
| 2-1-1  | 「患者属性入力」、「撮影／検査属性入力」および「画像の品質確認・最適化」が可能であること。   |
| 2-1-2  | 立位ビルトイン・臥位ビルトイン・カセットタイプのFPDおよびCRカセットを使用した画像を受信することが可能であること。   |
| 2-1-3  | 17inch×17inch、14inch×17inch、10×12inch、長尺撮影用のFPDと接続可能であること。また、既設の富士フィルムFPD(CALNEO Smart)と接続可能であること。  |
| 2-1-4  | 画像処理機能として、階調処理、周波数処理、マルチ周波数処理、ダイナミックレンジ圧縮処理、黒化処理、ノイズ抑制処理、グリッド除去処理が行えること。  |
| 2-1-5  | 散乱線を解析しコントラストを改善する画像処理が行えること。また、胸部、腹部以外に整形領域（椎体、骨盤、股関節等）にも対応可能であること。  |
| 2-1-6  | 2-1-4、2-1-5の画像処理については、ユーザーによるパラメータ変更が可能であること。   |
| 2-1-7  | DICOM Part 14に対応した階調処理を行えること。   |
| 2-1-8  | 濃度・コントラスト調整が可能であること。  |
| 2-1-9  | 画像回転、反転、90度回転ができること。  |
| 2-1-10 | 画像の任意角度回転ができること。  |
| 2-1-11 | アノテーション入力機能を有すること。  |
| 2-1-12 | 表示する画像に、撮影部位、撮影方向に応じた撮影マーカを自動的に表示することが可能なこと。また手動で埋め込むことも可能なこと。  |
| 2-1-13 | トリミング機能を有すること。トリミング位置はQA画面に入らず撮影画面上で調整可能なこと。また、サイズ・位置固定、サイズ固定・位置自動認識、サイズ・位置自動認識を選択使用できること。  |
| 2-1-14 | MWMをサポートし、放射線情報システムと接続して患者情報およびオーダー情報を取得可能であること。また、MPPSをサポートし、撮影情報（管電圧、管電流、撮影時間、線量情報等）を放射線情報システムに送信可能であること。                                   |
| 2-1-15 | PACSへのStorageは施設運用に合わせて、Private CR Storage、CR Image Storage、MG Image Storage for Presentation、DX Image Storage for Presentationを選択することができること。 |

|          |   |
|----------|---|
| 2-1-16   | DICOM Print service classをサポートし、既設の富士フィルム社製DRYPPIX4000にフィルム出力可能であること。                     |
| 2-1-17   | ディスプレイは17インチ以上のカラータッチモニタ（タッチパネル方式）であること。  |
| 2-1-18   | セカンドモニタとして、DICOM Part 14に対応した2Mpixel以上の高精細カラーモニタを備えること。また、設置に必要な機材を備えること。                 |
| 2-1-19   | 長尺合成機能を有していること。また、長尺合成機能には体動検出および体動補正機能が備わっていること。   |
| 2-1-20   | 遠隔操作でコンソールの一部機能を操作することが可能なタブレットを備えること。また、タブレットフォルダを備えた操作卓を備えること。                          |
| 2-1-21   | DRの品質管理を行うための専用ソフトウェアを有していること。  |
| 2-1-22   | 撮影済み検査の検査再開機能を有していること。  |
| 2-1-23   | Exposuer Indexの表示が可能であること。  |
| 2-1-24   | 目安となるExposuer Indexを処理メニュー毎に設定することが可能であること。   |
| 2-1-25   | 高電圧発生装置とX線撮影条件を送受信することができること。   |
| 2-1-26   | 患者ID情報をハードディスク内に最大30万件保管し、次回以降IDや氏名で検索できること。  |
| 2-1-27   | ハードディスク内に画像を約3500枚保管できること。  |
| 2-1-28   | ハードディスクを暗号化し、セキュリティ機能を強化できること。  |
| 2-1-29   | X線自動検出機能FPDの制御が可能なこと。   |
| 2-1-30   | X線自動検出機能使用時に、検出感度切り替えが可能なこと。  |
| 2-1-31   | X線自動検出機能使用時に、未撮影メニュー選択時にパネルReadyとなり画像読み込みが可能になること。  |
| 2-1-32   | 線量管理システムにDICOM X-Ray Radiation Dose SR SOP Classを用いて撮影実績を送信することが可能であること。                  |
| 2-1-33   | Rawデータ出力が可能であること。   |
| 2-1-34   | 撮影済みの画像を他検査に移動することができること。   |
| 2-2      | FPD(Flat Panel Detector)は以下の要件を満たすこと。   |
| 2-2-1    | 17inch×17inchサイズのFDPを7枚、14inch×17inchサイズのFPDを1枚、10×12inchサイズのFPDを2枚、備えること。また、以下の仕様を満たすこと。 |
| 2-2-1-1  | FPDはCsIを用いた間接変換方式であること。   |
| 2-2-1-2  | FPDは鮮鋭度向上のためX線照射側（おもて面）からデータを読み取る構造であること。   |
| 2-2-1-3  | FPDのTFT基盤は耐衝撃性を考慮し、フィルムタイプであること。  |
| 2-2-1-4  | FPDの読取り画素サイズは150μm以下であること。  |
| 2-2-1-5  | FPDの読取り階調数は16bit以上であること。  |
| 2-2-1-6  | IEEE802.11a,c,nに準拠した無線運用方式を採用していること。  |
| 2-2-1-7  | 無線は、2.4GHz帯の周波数帯域に加えて、W52、W53、W56の高周波帯域にも対応していること。  |
| 2-2-1-8  | FPDはバッテリー着脱方式であること。   |
| 2-2-1-9  | フル充電で最大13時間以上の待機が可能であること。   |
| 2-2-1-10 | 起動時にユーザー操作なしで、X線照射を行なわない自動キャリブレーションを行うこと。   |
| 2-2-1-11 | X線自動検出機能を有すること。   |
| 2-2-1-12 | FPD本体に内蔵メモリを搭載し、画像処理ユニットなしで撮影および画像の一時保存が可能であること。  |
| 2-2-1-13 | 内蔵メモリには99画像以上の画像を一時保存できること。   |
| 2-2-1-14 | FPD本体表面に抗菌コートを施しており、衛生的に取扱うことができること。  |
| 2-2-1-15 | IP5Xの防塵に準拠していること。   |

|          |   |
|----------|---|
| 2-2-1-16 | IPX6の防水に準拠していること。   |
| 2-2-2    | 43cm×80cmサイズのFPDを1枚備えること。また、以下の仕様を満たすこと。  |
| 2-2-2-1  | FPDは間接変換方式であること。  |
| 2-2-2-2  | FPDは鮮鋭度向上のためX線照射側（おもて面）からデータを読み取る構造であること。   |
| 2-2-2-3  | FPDの読み取り画素サイズは150μm以下であること。   |
| 2-2-2-4  | FPDの読み取り階調数は16bit以上であること。   |
| 2-2-2-5  | IEEE802.11a,cに準拠した無線運用方式を採用していること。  |
| 2-2-2-6  | 無線は、2.4GHz帯の周波数帯域に加えて、W52、W53、W56の高周波帯域にも対応していること。                                |
| 2-2-2-7  | FPDはバッテリー着脱方式であること。   |
| 2-2-2-8  | 起動時にユーザー操作なしで、X線照射を行なわない自動キャリブレーションを行うこと。   |
| 2-2-2-9  | X線自動検出機能を有すること。   |
| 2-2-2-10 | FPD本体に内蔵メモリを搭載し、画像処理ユニットなしで撮影および画像の一時保存が可能であること。                                  |
| 2-2-2-11 | FPD本体表面に抗菌コートを施しており、衛生的に取扱うことができること。  |
| 2-2-2-12 | IPX3の防水に準拠していること。   |
| 2-2-2-13 | 専用の保護カバーを備えること。   |
| 2-2-2-14 | 専用のグリッドを備えること。グリッドの仕様については本市と協議を行うこと。   |
| 2-2-3    | FPDの充電及び通信を行うためのスタンドを4台備えること。   |
| 2-2-4    | 予備バッテリーを4枚備えること。  |
| 2-2-5    | 最大2枚のバッテリーを同時に受電できるバッテリー充電器を2台備えること。  |
| 2-2-6    | FPDは、既設の富士フィルム社製Console Advance 及び Mobile Consoleに接続可能であること。                      |
| 3        | ポータブル撮影装置は以下の要件を満たすこと。  |
| 3-1      | ポータブル撮影装置(島津製作所MobileArt Evolution MX8versionもしくは同等品)を1台備えること。<br>また、以下の仕様を満たすこと。 |
| 3-1-1    | 制御方式はインバータ方式であること。  |
| 3-1-2    | 定格出力は32kW以上であること。   |
| 3-1-3    | 撮影管電圧調整範囲は40～133kV以上とし、ステップ幅は1kV以内であること。  |
| 3-1-4    | 最大管電流は400mA以上であること。   |
| 3-1-5    | 管電流時間積（mAs）は、0.32～320mAsの範囲で設定が可能であること。   |
| 3-1-6    | 焦点は2焦点以上を有し、サイズは大焦点1.3mm、小焦点0.7mm以下であること。   |
| 3-1-7    | 焦点の上下移動範囲は、床面から680～2020mmの範囲を有すること。   |
| 3-1-8    | 支柱回転範囲は±270度以上であること。  |
| 3-1-9    | X線管球回転角度は±180度以上であること。  |
| 3-1-10   | X線管装置管軸まわり回転角度は120度以上であること。   |
| 3-1-11   | 保持アームを水平方向に1200mm伸ばした状態でも、床面からの焦点高さが200cm以上であること。                                 |
| 3-1-12   | 走行時の支柱高さが1270mm以下であること。   |
| 3-1-13   | 保持アームに撮影状態を示す表示灯を有すること。   |
| 3-1-14   | アームロックを一度に解除するオールフリースイッチを搭載し、片手での操作が可能であること。                                      |
| 3-1-15   | 照射野ランプは、LEDを採用していること。   |
| 3-1-16   | 電動による駆動方式であること。   |

|        |  |
|--------|--|
| 3-1-17 | ブレーキ方式は走行ハンドルを握るとブレーキが解除されるデッドマン方式であること。   |
| 3-1-18 | 最大走行速度は前進5km/h、後進5km/h以上であること。   |
| 3-1-19 | 装置の前方に自動停止バンパーを有し、障害物に衝突した際に自動的に駆動回路が遮断される機能を有すること。  |
| 3-1-20 | 装置サイズは全幅56cm以下であること。   |
| 3-1-21 | 重量は435kg以下であること。   |
| 3-1-22 | コリメータでの本体移動操作が可能であること。   |
| 3-1-23 | コリメータ背面に照射野調整つまみ及びランプ点灯ボタンを有すること。  |
| 3-1-24 | X線検出器を立てる溝が装置上部面に設けられており、X線検出器の清掃やカバー装着等の作業が可能なこと。   |
| 3-1-25 | 本体の前方左右に収納スペースを有すること。  |
| 3-1-26 | 計算または実測の面積線量値を本体に表示できること。  |
| 3-1-27 | FPD収納ボックスでのFPDの盗難を防止するロック機構を有すること。   |
| 3-1-28 | 17×17インチのFPDが装置幅からはみ出すことなく収納できること  |
| 3-1-29 | 無線ハンドスイッチが使用できること。   |
| 3-1-30 | ハンドスイッチを装置前方・後方2ヶ所に設置できること。  |
| 3-2    | ポータブル撮影装置(富士フィルムメディカルCALNEO AQROもしくは同等品)を1台備えること、また、以下の仕様を満たすこと。                             |
| 3-2-1  | 制御方式はインバーター方式であること。  |
| 3-2-2  | 最大出力は2kW以上であること。   |
| 3-2-3  | 定格は100kV、25mA以上であること。  |
| 3-2-4  | 撮影管電圧は40～100kV、1kV調整可能。管電流は管電圧に応じて自動設定され、最大mAs値が25mAs以上であること。                                |
| 3-2-5  | 焦点サイズは1.3mm以下の焦点を有すること。  |
| 3-2-6  | X線照射範囲は焦点より1000mmの位置で430mm×430mm以上あること   |
| 3-2-7  | 可動範囲は、床から焦点まで1900mm以上の距離をとれること。また床から焦点まで400mmの距離で撮影が可能であること。                                 |
| 3-2-8  | 2-2項に記載したFPDの充電が可能であること。   |
| 3-2-9  | 電源は、内臓バッテリーで充電状況がランプ等で目視確認ができること。  |
| 3-2-10 | 照射野ランプはLEDを使用していること。   |
| 3-2-11 | 撮影条件はメニューと連動し自動で設定されること。   |
| 3-2-12 | 内蔵バッテリーによる撮影が可能であること。  |
| 3-2-13 | 100V電源に接続し充電しながら撮影が可能であること   |
| 3-2-14 | デジタル画像処理装置を本体に搭載していること。  |
| 3-2-15 | 画像表示部は、12インチ以上のタッチパネル式であること。   |
| 3-2-16 | 17inch×17inch、14inch×17inch、10×12inchのFPDと接続可能であること。また、既設の富士フィルムFPD(CALNEO Smart)と接続可能であること。 |
| 3-2-17 | 画像処理機能として、階調処理、周波数処理、マルチ周波数処理、ダイナミックレンジ圧縮処理、黒化処理、ノイズ抑制処理、グリッド除去処理が行えること。                     |
| 3-2-18 | 散乱線を解析しコントラストを改善する画像処理が行えること。また、胸部、腹部以外に整形領域（椎体、骨盤、股関節等）にも対応可能であること。                         |
| 3-2-19 | DICOM Part 14に対応した階調処理を行えること。  |

|        |   |
|--------|---|
| 3-2-20 | 濃度・コントラスト調整が可能であること。  |
| 3-2-21 | 画像回転、反転、90度回転ができること。  |
| 3-2-22 | 画像の任意角度回転ができること。  |
| 3-2-23 | アノテーション入力機能を有すること。  |
| 3-2-24 | 表示する画像に、撮影部位、撮影方向に応じた撮影マーカを自動的に表示することが可能なこと。また手動で埋め込むことも可能なこと。  |
| 3-2-25 | トリミング機能を有すること。トリミング位置はQA画面に入らず撮影画面上で調整可能なこと。また、サイズ・位置固定、サイズ固定・位置自動認識、サイズ・位置自動認識を選択使用できること。  |
| 3-2-26 | MWMをサポートし、放射線情報システムと接続して患者情報およびオーダー情報を取得可能であること。  |
| 3-2-27 | PACSへのStorageは施設運用に合わせて、Private CR Storage、CR Image Storage、MG Image Storage for Presentation、DX Image Storage for Presentationを選択することができること。 |
| 3-2-28 | X線自動検出機能FPDの制御が可能なこと。   |
| 3-2-29 | X線自動検出機能使用時に、検出感度切り替えが可能なこと。  |
| 3-2-30 | X線自動検出機能使用時に、未撮影メニュー選択時にパネルReadyとなり画像読み込みが可能になること。  |
| 3-2-31 | 患者のリストバンド等バーコードの読み取りが可能な小型のバーコードリーダー(無線タイプ)を備えること。  |
| 4      | 自動受付用端末は以下の要件を満たすこと。  |
| 4-1    | 自動受付用端末を備えること。また、以下の仕様を満たすこと。   |
| 4-1-1  | 既設の放射線情報システム(富士フィルム医療ソリューションズ RADISTA)と接続し、放射線検査の自動受付が可能であること。また既設の放射線情報システム側の費用を見込むこと。   |
| 4-1-2  | 受付時に受付表(患者控)を自動で出力可能であること。また、出力のためのプリンターとしてKOBAYSHI ip-70もしくは同等品を備えること。   |
| 4-1-3  | 受付表(患者控)に放射線情報システムの受付番号を印字可能であること。  |
| 4-1-4  | 受付表(患者控)の記載内容を検査種別毎にカスタマイズ可能であること。  |
| 4-2    | ハードウェアは以下の仕様を満たすこと。   |
| 4-2-1  | 主記憶容量は 16GB 以上であること。  |
| 4-2-2  | CPUは Intel Core i5 相当以上であること。   |
| 4-2-3  | 内蔵ディスクは物理容量256GB以上のSSD構成とすること。  |
| 4-2-4  | 自動受付用端末は、19インチカラーモニタ(解像度1280×1024)を1面で構成すること。   |
| 4-2-5  | OSは Microsoft社製Windows11(64bit)相当以上の性能を有すること。   |
| 4-2-6  | 1000Base-T (1Gigabit Ethernet) インタフェースを装備していること。  |
| 4-2-7  | 定置式バーコードリーダーを1台導入すること。  |
| 4-2-8  | カードリーダーを1台導入すること。   |
| 5      | 付属品等は以下の要件を満たすこと。   |
| 5-1    | X線グリッド(三田屋製作所MSグリッドもしくは同等品)を備えること。また、以下の要件を満たすこと。   |
| 5-1-1  | MS CAP タイプ グリッド 460×460mm 1枚<br>格子比6:1 密度34L/cm 焦点距離 120cm  |
| 5-1-2  | MS CAP タイプ グリッド 14×17インチ 1枚<br>格子比6:1 密度34L/cm 焦点距離 120cm   |
| 5-1-3  | MS CAP タイプ グリッド 10×12インチ 2枚<br>格子比6:1 密度34L/cm 焦点距離 200cm   |
| 5-1-4  | X線グリッドラック(三田屋製作所MSグリッドラックMS-GR-WDもしくは同等品)を2台備えること。  |
| 5-2    | 撮影補助具(オリオンラドセーフ JN式ポジショニングブロックもしくは同等品)を備えること。また、以下の要件を満たすこと。  |

|       |  |
|-------|--|
| 5-2-1 | 平板 TYPE-FM(510×150×50mm)を2個備えること。  |
| 5-2-2 | 膝関節スカイライン用30°、60°、90°を各1個備えること。  |
| 5-2-3 | 三角柱(300×505×144mm)を1個備えること。  |
| 5-2-4 | 三角柱(315×505×175mm)を1個備えること。  |
| 5-3   | カセットホルダー(オリオンラドセーフ デクビタスカセットホルダーS-300 もしくは同等品)を2台備えること。  |
| 5-4   | FPDホルダー(オリオンラドセーフ FPDホルダー Libero NEXT もしくは同等品)を2台備えること。  |
| 5-5   | 放射線防護用品として、放射線防護衣エプロンタイプ(マエダ マジカルライトもしくは同等品)をLL2着、L5着、M3着、S2着を備えること。またX線防護衣用ラック(マエダ HL301SSもしくは同等品)を3台備えること。 |
| 5-6   | LED光源シャウカステン(ナビス 超薄型シャウカステン[LED光源]半切1枚 LH-1もしくは同等品)を1台備えること。   |
| 5-7   | 検査室内の患者観察を目的とした監視カメラとモニタをCT検査室1とCT検査室2に備えること。また、モニタには、検査室内に設置予定のベットサイドモニタの生体情報も表示可能とすること。                    |
| 7     | 検査データ管理および画像計測用のノートPCに関して、以下の要件を満たすこと。   |
| 7-1   | OSは、Windows11 Home 64bit以上であること。   |
| 7-2   | CPUは、Intel Core i7と同等以上であること。  |
| 7-3   | メモリは、16GB以上であること。  |
| 7-4   | ストレージ容量は、SSD：512MB以上であること。   |
| 7-5   | 画面サイズは、15.6型フルHD以上であること。   |
| 7-6   | Microsoft Office Home and Business2024を備えること。  |
| 7-7   | DVD±R/±RW/±DRL/RAMに対応した光学ドライブを備えること。   |
| 8     | その他  |
| 8-1   | 操作室に機器等を設置し操作するための操作机と椅子を用意すること。なお、種類・台数・脚数については本市と十分な協議を行うこと。   |
| 8-2   | 本装置の使用ための関係行政機関への各種申請書類の作成など行政手続き全般について主体となって行うこと。   |